

新型コロナは非常に広まりやすい感染症です。施設内で感染を広げないため、発生時に慌てないために、日頃から特に守っていただきたいことがあります。できていますか？

1. 日頃からの感染対策編

■ 手洗い・消毒は正しく行えていますか？

- ・認知症等で自身のケアが難しい場合は、職員の介助で手洗いを行いましょう
- ・共用タオルの使用は絶対に避け、ペーパータオルを使用しましょう
- ・おしぼりを使用する場合は、使い捨てのおしぼり(ウェットティッシュ)がオススメです

手指衛生のタイミング

手袋などを使用した際は、外した後も手指衛生を行う

出勤時、退勤前



食事、休憩の前



食事介助
排泄介助など
1ケアごと



詳細はこちらから



厚生労働省
「介護職員のための
感染対策マニュアル」
(→P4～記載あり)

■ サージカルマスクを正しく着脱できていますか？



鼻と口を覆うように
着用しましょう



外すときは、マスクの紐を持
ち、そっと外しましょう



外した後は消毒を忘れずに！

©2014 大阪府もずやん

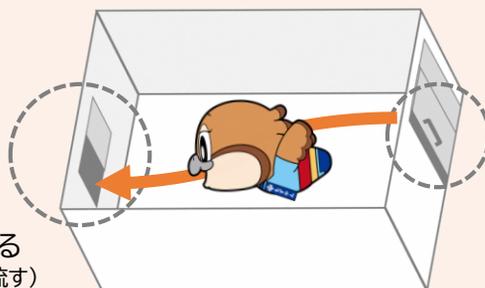
■ 正しく換気できていますか？

風の通り道をつくるためには、対角線上に窓やドアをあけると効果的です。



風下

窓を大きく開ける
(施設の外へ空気を流す)



風上

ドアを小さく開ける
(隙間程度で十分です)

詳細はこちらから



大阪府
「間違えやすいポイント集」
(→ P8～記載あり)

2. 陽性者発生に備えた事前準備編

～陽性者発生時に、混乱せず対応出来るよう、事前準備をしておきましょう～

■ 感染防護具や消毒物品の備蓄はできていますか？

コロナ陽性者が発生した際は个人防护具等の交換がこまめに必要となるため、相当量が必要となります。また、共用する物品(血圧計等)や手指は1ケア2消毒(ケアの前と後)が必要です。すぐに対応できるように、あらかじめ備蓄しておきましょう。



■ 入所系施設では連携医療機関と事前にお話しはできていますか？

早期治療・健康管理ができるよう、あらかじめ連携医療機関の医師へ相談しておきましょう。連携医療機関での治療が難しい場合は、往診可能な医療機関を探しておきましょう。



発熱したら検査してくれるの？
陽性者への往診はできる？
新型コロナウイルス感染症治療薬の投与は？
酸素投与や点滴はできる？



■ 職員が不足した際の対応策について検討していますか？

職員が陽性者となった場合、限られた人員で施設運営を継続する必要があります。人材不足になった場合の対応策について、あらかじめ検討しておきましょう。

- 業務の中での優先順位はなにか
- 法人グループ内からの応援職員の派遣はできるのか
- 施設管理者が陽性となった場合、指揮系統をどうするのか



もしもに備えて

新型コロナ陽性者や感染疑い事例が発生したときに必要な情報を、早わかりブック(*)にまとめています。施設内研修やシミュレーションなどで内容を事前に確認し、いざという時に全員が動けるようにしましょう！

(*大阪府「社会福祉施設等向け新型コロナウイルス感染症対応早わかりブック」)



※+1ポイント

発生時の対応を円滑にするためには情報共有も大切です。入居者等が陽性になった場合の治療方針や隔離等の対応の説明などについて、あらかじめ本人や入居者等家族、主治医、ケアマネージャー等と共有しておくようにしましょう。

(※入居者等は入所者・入居者を含みます。)

大阪府 早わかりブック

